

4月1日から 産後ケア事業(ショートステイ型)がより使いやすくなります

- 利用日数を3泊4日から6泊7日に拡充します
- 聖路加助産院マタニティケアホームとJR東京総合病院での受け入れが始まります

産後、お母さんと赤ちゃんが支援施設へ宿泊して、健康状態の確認や授乳のアドバイス、沐浴^{もくよく}の練習、育児相談等を受けることができます。

☑ 次の全てに該当する方

- ▶区に母子ともに住民登録がある
- ▶産後ケアを必要としている
- ▶母子ともに医療行為・入院加療が必要ない

支援施設・対象月齢等

対象月齢は施設によって異なります。

- ▶聖母病院(中落合2-5-1)…産後2か月未満
- ▶八千代助産院(文京区音羽1-19-18)…産後4か月未満
- ▶国立国際医療研究センター病院(戸山1-21-1)…産後1か月未満(原則として、一度自宅等に退院した後の利用不可)
- ▶愛育産後ケア子育てステーション(港区南麻布5-6-8)…産後5か月未満
- ▶四谷川添産婦人科(左門町18)…産後2か月未満(四谷川添産婦人科で出産した方のみ)
- ▶聖路加助産院マタニティケアホーム(中央区明石町1-24)…産後10週未満
- ▶JR東京総合病院(渋谷区代々木2-1-3)…産後4か月未満



☑ 4月1日(火)以降は支援施設ごとに利用料金が異なります。詳しくは、新宿区ホームページ(右二次元コード左)をご覧ください。

※住民税非課税世帯は減額、生活保護を受給している世帯等は減額または免除します。

利用までの流れ

- ▶利用登録申請…妊娠8か月(28週)以降、利用希望日の2週間前までに所定の申請書を郵送または直接、担当保健センター(★)へ。新宿区ホームページ(上二次元コード左)からも申請できます。申請書は保健センターで配布しているほか、新宿区ホームページ(上二次元コード左)から取り出せます。
- ※郵送・インターネットで申請する場合は後日電話で、窓口で申請する場合は当日、体調等を伺います。
- ▶利用登録決定通知書が届く…申請から2週間程度で届きます。
- ▶利用予約…希望する支援施設を予約します。支援施設によって予約方法が異なります。
- ▶利用確定…支援施設が日程調整を行い、利用の可否を連絡します。
- ※3泊4日の利用登録決定通知書を既にお持ちの方へ順次、追加分の利用登録決定通知書を発送します。

☎ 健康づくり課健康づくり推進係 ☎ (5273) 3047・FAX (5273) 3930



産後ケア事業



★ご自身の住所地を担当する保健センターの確認はこちら

出産・子育て応援ギフトが妊婦支援給付金に変わります



- 従来の電子ギフトのほか、現金も選択できるようになります

「出産・子育て応援ギフト」が、4月から「妊婦支援給付金」に変わります。詳しくは、新宿区ホームページ(右二次元コード)をご覧ください。



☎ 健康づくり課健康づくり推進係 ☎ (5273) 3047・FAX (5273) 3930

対象・金額

- ▶医師から胎児心拍の確認を受け、令和7年4月1日以降に妊娠の届け出し、看護職との面談(ゆりかご・しんじゅく)を受けた妊婦…5万円(相当)
- ▶令和7年4月1日以降に出産し「すくすく赤ちゃん訪問」を受けた産婦(流産・死産の場合も対象)…妊娠していたお子さんの人数×5万円(相当)

給付内容 現金または電子ギフト

しんじゅく 各駅停車

Vol.08 東京さくらトラム(都電荒川線)面影橋停留場



周辺
おすすめ
スポット



開業年月日

1928年(昭和3年)12月25日

マスコットキャラクター

愛称は「とでんあらかわせん」から4文字をとった「とあらん」



当停留場は東京さくらトラムの始発となる早稲田から数えて最初の停留場です。線路と並行して流れる神田川には、停留場の名の由来となった面影橋が江戸時代から代替えしながら現在も架けられています。この辺りは桜の名所として知られ、車窓からは神田川に舞う桜吹雪を楽しめます。

東京に残る唯一の都電として周辺住民・学生の皆さんの身近な交通手段としての役割を担っていますが、近年では観光目的での利用も増えました。沿線から一步入ると落ち着いた街並みが広がり、甘泉園公園など四季の彩りに触れ合える場所が点在しています。東京さくらトラムも季節に合わせた装飾電車を運行しています。ぜひ、散策と併せてお楽しみください。



昭和初期の東京市電をイメージしたレトロなデザインの9000形



学習院下～面影橋間では車窓から桜並木を望めます



神田川沿いの桜

面影橋停留場のすぐそばを流れる神田川の両岸にはソメイヨシノ等の桜並木が続き、毎年春になると見物客でにぎわいます。川面を覆うように形作られた桜のアーチと、その脇をゆったりと走る都電荒川線が融合した景色はこの地域ならではの風物詩の一つ。多くの人々を魅了し、心を癒やしてくれます。

新宿区公式SNS



X(旧Twitter)
@shinjuku_info



Facebook
@shinjuku.info



LINE
アカウント名/新宿区



YouTube
「新宿区チャンネル」